

【2024 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
現代社会と倫理	HLA11-008	選択	1	1.2	前期 (前半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
松崎 昇	B317	noboru.matsuzaki	火曜日 12 : 20 ~ 14 : 30		
授業の目的・概要	<p>1. 目的</p> <p>1) 倫理とはなんだろうか？ それは良く生きるための道標である。私達は、時に生き辛い、苦悩彷徨する。その時、一灯の光が、私達に確かな道を指し示してくれる。それが倫理的教養である。</p> <p>2) 本科目は、受講生が現代社会の応用倫理的諸問題 (企業倫理・政府倫理・科学倫理・生命倫理等) に積極的に関心を持ち、自分なりにあれこれ調査・考察・発表・議論できるようになることを目的とする。</p> <p>3) 企業・役所等に就職する人はもちろんのこと、特に療法士・福祉士になる人にとって、現場での瞬時の倫理的な把握判断が不可欠となる。だがそこに正解はない。ないけれども、何とかしなければならない。さあどうするか？</p> <p>4) 本科目を受講することによって、確かな倫理的指針を体得することができよう。大方の受講を強く勧める。</p> <p>2. 概要</p> <p>1) ①倫理学の基本、②現代社会が抱える応用倫理的諸問題、③うち特に生命倫理的諸問題、の順で講義する。</p> <p>2) 終盤の第 6~8 回には Active Learning を行う。①グループによる Power Point 発表・質疑応答、②グループでの Debate、③全員で Discussion、という三形態を用意している、お楽しみに。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	<p>1. 国内外の応用倫理的な諸問題に広く関心を持ち、積極的に調べ感じ考えてみること。</p> <p>2. 毎回の授業で用いる Power Point を事前に Teams に up する予定なので、予め目を通しておくこと。</p>				
教科書	使用しない。				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	倫理学について、基本的な事項を説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)	
②	現代社会における応用倫理的諸問題について、基本的な事項を説明することができる。			HSU(1)、(5)	
③	生命倫理等に関し、様々な角度から調査・考察・発表・議論することができる。			HSU(3)、(4)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	科目の Guidance。 倫理を学ぶ (道徳・法律等との相違、義務論、帰結主義、徳論)。	講義	事後課題を作成し提出する。	2	
2	現代経済倫理を学ぶ (企業倫理・身心倫理・地球倫理)。	講義	事後課題を作成し提出する。	4	
3	現代国家倫理を学ぶ (政府倫理・家族倫理・世界倫理)。	講義	事後課題を作成し提出する。	4	
4	現代意識倫理を学ぶ (科学倫理・情魂倫理・存在倫理)。	講義	事後課題を作成し提出する。	4	
5	生命倫理を学ぶ (概論・産む産まれる・生きる・死ぬ)。 Active Learning (AL) のための Guidance。	講義	事後課題を作成し提出する。	4	
6	AL1 : Group Power Point 発表・質疑応答。	発表	事後課題を作成し提出する。	4	
7	AL2 : Group Debate。	対論	事後課題を作成し提出する。	4	

【2024 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

8	AL3 : Total Discussion、まとめ。	討論・講義	事後課題を作成し提出する。	4				
試	期末 Report。							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		0	40	40	0	20	100	
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10	
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10	
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	0	10	10	0	0	20	
評価のポイント					フィードバックの方法			
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	期末 Report を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察の質量等に着目する。			Comment を付け、返送する。		
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①	✓	受講生による [①Power Point 作成・発表・質疑応答、 ②Debate 力、③Discussion 力] を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・発表・発言の質量等に着目する。			Comment を付け、結果を公表する。		
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	毎回提出する課題を評価する。 調査・考察の質量等に着目する。			Comment を付け、返送する。		
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし。							
教員の実務経験	なし。							
実践的授業の内容	なし。							
そ の 他	1. 授業は教室対面方式であるが、課題は Teams を用いて提示・回収・返却する予定である。 念のため通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を勧める。 2. 本科目は教室対面式の授業を行うので、受講生は大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合には授業への参加を認めない。 3. 授業進度等、また今後の新型コロナウイルス感染症の状況等によっては、シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。							